

(単位:千トン)

年度 項目	2023年度		2024年度		2025年度	
	実績	前年比	見込	前年比	予測	前年比
木造用 (1)	70	▲ 9.8%	66	▲ 7.0%	62	▲ 5.6%
ビル用 (2)	72	0.1%	61	▲ 15.7%	60	▲ 2.3%
アルミサッシ計 (1)+(2)=(3)	143	▲ 4.9%	126	▲ 11.4%	121	▲ 4.0%
ドア (4)	19	▲ 7.6%	19	1.6%	19	0.0%
エクステリア (5)	95	▲ 9.8%	94	▲ 0.9%	94	▲ 0.1%
アルミ製室内建具 (6)	35	▲ 2.2%	34	▲ 1.5%	33	▲ 2.9%
アルミ建材計 (3)(4)(5)(6)	291	▲ 6.3%	273	▲ 5.9%	267	▲ 2.3%

コメント

建築着工 2024年実績および年度見込み

1. 木造用サッシ関係指標

1). 2024年1月～12月実績

新設住宅着工戸数は、暦年で792千戸(前年比3.4%減)となり2年連続の減少となりました。

新設住宅着工(戸数)	792千戸	前年比	-3.4%
新設住宅着工(床面積)	60,869千㎡	前年比	-5.2%
木造住宅(戸数)	452千戸	前年比	-0.5%
非木造住宅(戸数)	340千戸	前年比	-6.9%
木造住宅(床面積)	39,971千㎡	前年比	-3.5%
非木造住宅(床面積)	20,898千㎡	前年比	-8.2%
持家(戸数)	218千戸	前年比	-2.8%
貸家(戸数)	342千戸	前年比	-0.5%
分譲(戸数)	225千戸	前年比	-8.5%

2). 2024年度の見込み(4月～3月)

新築住宅着工戸数は、年度で784千戸(前年度比2.0%減)と見込みました。

2. ビル用サッシ関係指標

1). 2024年1月～12月実績

全着工建築物の床面積は、暦年で102,739千㎡(前年比7.6%減)となりました。

全着工	102,739千㎡	前年比	-7.6%
非木造	58,883千㎡	前年比	-10.2%
内非居住用	43,448千㎡	前年比	-8.0%

2). 2024年度の見込み(4月～3月)

非木造用床面積は、年度で58,000千㎡(前年度比8.6%減)と見込みました。

アルミ建材需要 2025年度予測

1. 木造用サッシ

2025年度住宅着工戸数は資材価格の高騰による住宅建設コストの高止まりや、景気の先行き不透明感の継続などにより、前年より1.4%減となる773千戸と見込みました。うち木造住宅は439千戸(前年度比2.0%減)と想定しました。

住宅省エネ2025キャンペーン等により窓改修市場は好調に推移する一方で木造住宅用サッシの材質はアルミ製からアルミ樹脂複合製と樹脂製への移行が進み、さらに、平屋建住宅の増加、また床面積1㎡当たりの窓数の減少により一戸当たりのアルミ建材重量は減少傾向となっていることから、2025年度の木造用サッシの需要を62千トン(前年度比5.6%減)と予測しました。

2. ビル用サッシ

2025年度の非木造分野は、建設資材の高騰や労働力不足による影響が継続すると想定し、非木造床面積を57,300千㎡(前年度比1.2%減)と見込みました。ビル用サッシ需要は、新築分譲マンションが減少していることなどから60千トン(前年度比2.3%減)と見込みました。

以上のことから、アルミ建材需要全体では、267千トン(前年度比2.3%減)と予測しました。